






干潟と保全の取り組み (No. 64)

干潟の名称	重信川河口域		
海城(府県)名*1	伊予灘(愛媛県)	エリア名*1	上灘
干潟の面積	13.3ha 出典:【環境省 HP (生物多様性の観点から重要度の高い海域)】		
干潟のタイプ	前浜干潟 河口干潟 潟湖干潟 沖州 人工干潟 その他( )		
干潟の特徴	ハクセンシオマネキ等多くの水生生物が生息するほか、春、秋はシギ・チドリ類等の渡来地となっている。開発等による環境悪化が危惧されたが、自治体や各組織の連携により改善され、今も保全活動が続けられている。		
保全の取り組み名称	今出ヶ浜・重信川河口の大掃除による環境保全		
実施団体名	今出ヶ浜潮騒を守る会		
連絡先住所	〒791-8044 松山市西垣生町 869-1		
代表者名	仙波 隆	Email	ri-senba@cnc.e-catv.ne.jp
団体会員数	22名	HP	
(活動の概要)	平成13年に団体が設立されて以降、松山市垣生地区の今出ヶ浜及び重信川河口一帯の環境を保全していくため、団体による定期的な清掃活動に加え、同地区に在住の方や小中学校の児童生徒等の参加による二回の大規模な清掃活動等を行っており、海岸・砂浜の美化に貢献している。平成25年には、公益社団法人日本河川協会から河川功労者表彰を受けたほか、環境大臣より瀬戸内海環境保全功労者として表彰された。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 干潟清掃 研修会・学習会 他との協同連携 その他( 試験的に海岸沿いに春は菜の花、秋はコスモスを育てている。 )		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年 5月14日 会のメンバーによる重信川河口及び浜のゴミを2種分別にて収集する。(約50袋)</li> <li>・29年 6月25日 会のメンバーにより大清掃前の今出ヶ浜周辺の草刈りを実施し乾燥させる。</li> <li>・29年 7月1日 垣生地域の方々550名参加による2種分別(燃えるごみと燃えないごみ)収集の大清掃を実施する。(約6トン)</li> <li>・29年 7月30日 会のメンバーによる重信川河口及び浜のゴミを2種分別にて収集する。(約50袋)</li> <li>・29年 9月10日 会のメンバーによる重信川河口及び浜のゴミを2種分別にて収集する。(約50袋)</li> <li>・29年 11月19日 会のメンバーにより大清掃前の今出ヶ浜周辺の草刈りを実施し乾燥させる。</li> <li>・29年 11月25日 約520名の参加者による大清掃。参加者が回収したごみを2種分別(燃えるごみと燃えないごみ)する。(約5トン)</li> </ul>		



関連する生物種等	は希少種
○野鳥: チュウシヤクシギ、メダイチドリ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギ、アカアシシギ、ホウロクシギ	
○干潟の生き物: ハクセンシオマネキ	
○海藻(海草):	
○植物: ハマサジ、シオクグ	
希少種の特徴等	
(希少種が存在しない場合は「希少種は存在しない」と記述。)	
<b>ハクセンシオマネキ</b> (環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU)、松山市レッドデータブック2012 準絶滅危惧種) 甲幅約1.5cmの小型のカニ。河口の砂泥地に縦穴を掘って生活する。雄は、片足の鉗脚が巨大で白色を帯びている。	
	ハクセンシオマネキ
<b>ハマサジ</b> (環境省準絶滅危惧(NT)、松山市レッドデータブック2012 準絶滅危惧種) 海岸の砂地に生える越年草。葉は根ぎわに群生し、長楕円形のさじ型で下部は次第に狭まって柄状になり、ふちに鋸歯はない。長さ8~17cm。9~10月頃群生する葉の中央から花茎が伸びて多数枝分かかれし、小枝の先に穂状に密に花をつける。高さ30~50cm。	
	ハマサジ
<b>シオクグ</b> (松山市レッドデータブック2012 絶滅危惧種) 海水の出入りする湿地に生え、長い地下茎のある多年草。葉は少数で幅は1.5~2mmと細いが著しく長い。茎の基部では鞘だけで葉身がない。茎もやや細く、3稜形で上方がざらつく。高さ30~60cm。	
	シオクグ

干潟と保全の取り組み (No. 65)

干潟の名称	乙津川（大野川の分流）河口干潟		
海域（府県）名*1	伊予灘（大分県）	エリア名*1	
干潟の面積	ha 出典：【 （ ）】		
干潟のタイプ	前浜干潟 河口干潟 潟湖干潟 沖州 人工干潟 その他（ ）		
干潟の特徴	干潟に続いて砂州、塩生湿地、陸化など地形に変化があるので自然の多様性に恵まれている。		
保全の取り組み名称	干潟の保全		
実施団体名	河川ボランティア		
連絡先住所	〒870-0108 大分市三佐 1228		
代表者名	工藤 敦子	Email	<a href="mailto:kukudou@oct-net.ne.jp">kukudou@oct-net.ne.jp</a>
団体会員数	2 名	HP	
(活動の概要)	植物・貝・カニなど希少生物に恵まれているので、清掃活動と共に保護、再生、研究を続けている。小学生の観察会にも応援指導をしている。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 干潟清掃 研修会 学習会 他との協同連携 その他（ ）		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大野川清掃活動（月 1 回）</li> <li>・ 国土交通省職員による大野川清掃活動への参加（年 1～2 回）</li> <li>・ 地元小学生が参加する環境学習の講師（年 3 回）</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>大野川清掃活動（月 1 回）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>環境学習会</p> </div> </div>		

\*1：「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」（環境省：H28 年～30 年）参照

関連する生物種等	は希少種
<p>○野鳥： オオバン等（留鳥、夏鳥、冬鳥、旅鳥、迷鳥など 99 種）</p> <p>○干潟の生き物：フトヘナタリ、ハクセンシオマネキ、ソトオリガイ、センベシアワモチ、アシハラガニ等</p> <p>○植物：ハママツナ、イソホウキギ、ハマサジ、ハマボウ、ハマボウフウ、フクド等</p>	
希少種の特徴等	
<p>ハクセンシオマネキ（環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU)、大分県準絶滅危惧(NT)）</p> <p>分類：節足動物門 軟甲綱 エビ目 スナガニ科</p> <p>センベシアワモチ（環境省絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)、大分県絶滅危惧ⅠB類(EN)）</p> <p>分類：軟体動物門 腹足綱 収柄眼目 イソアワモチ科</p> <p>ハママツナ（環境省掲載なし、大分県準絶滅危惧(NT)）</p> <p>分類：離弁花類 アカザ科</p> <p>イソホウキギ（環境省掲載なし、大分県準絶滅危惧(NT)）</p> <p>分類：離弁花類 アカザ科</p> <p>ハマサジ（環境省準絶滅危惧(NT)、大分県絶滅危惧Ⅱ類(VU)）</p> <p>分類：合弁花類 イソマツ科</p> <p>ハマボウ（環境省掲載なし、大分県絶滅危惧Ⅱ類(VU)）</p> <p>分類：離弁花類 アオイ科</p> <p>フクド（環境省準絶滅危惧(NT)、大分県準絶滅危惧(NT)）</p> <p>分類：合弁花類 キク科</p>	

